

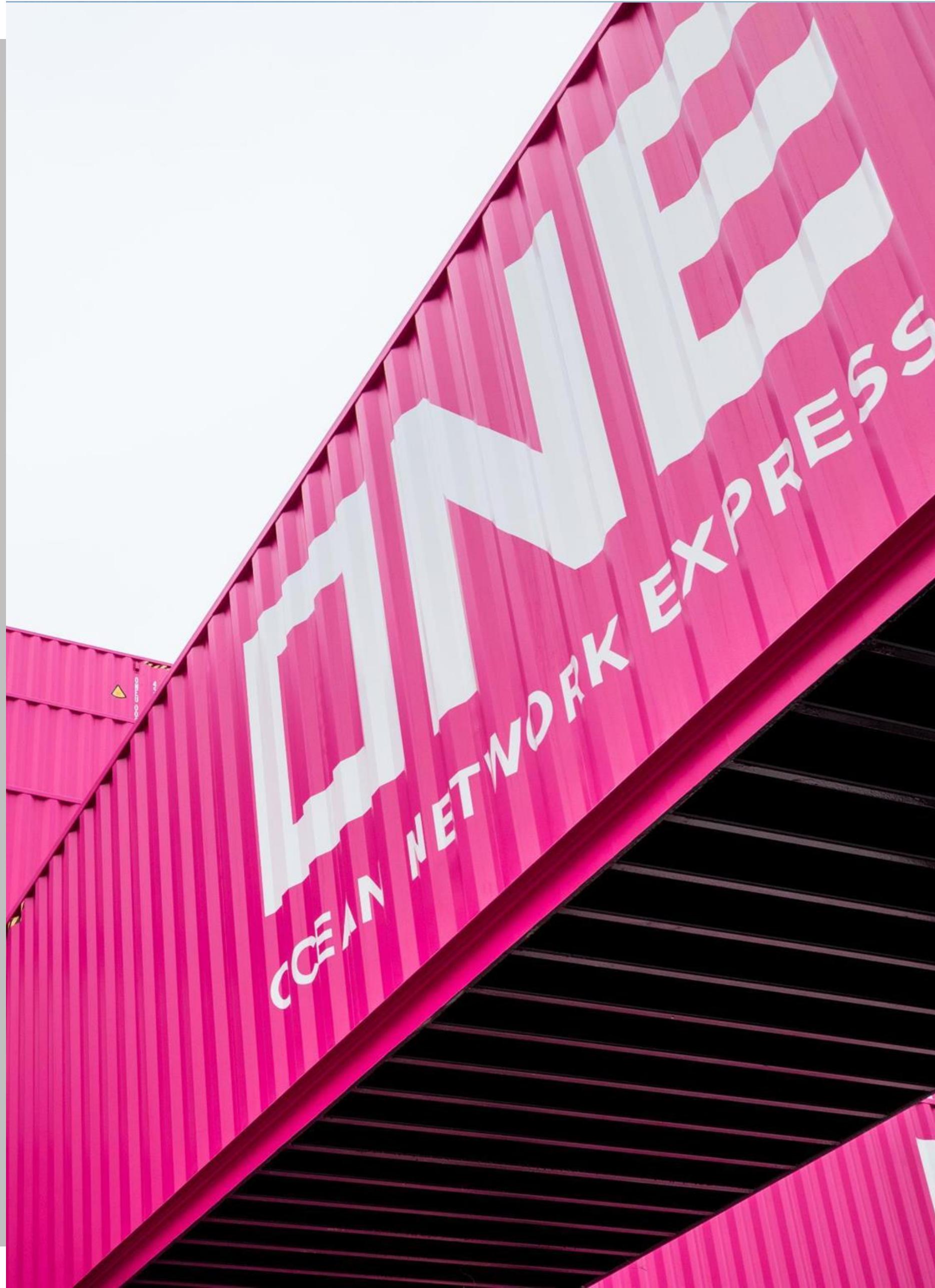
# ONEの取り組み

## 2022年度第3四半期



2023年1月31日





1. CEOからのメッセージ
2. 2022年度 当社の取り組み
3. ONEの取り組み
  - 顧客サービス志向
  - オペレーションの優位性
  - グリーン戦略
  - ONEの持続可能性

# CEOからのメッセージ (1/2)



**ジェレミー・ニクソン**  
最高経営責任者

## グローバル市場の動向

Covid-19の感染拡大当初にはサプライショックが起こり、顧客が枯渇した在庫の回復を急いだため、比較的強い市場動向が見られました。しかし2022年度の第3四半期は、前年同期と比較して貨物需要が大幅に減少しましたが、これは予想外の現象ではありませんでした。

また6月以降、多くのお客様が、潜在的な内陸部のサプライチェーンのボトルネックを懸念し、22年度下半期の季節商品の発注を前倒ししたことも明らかになりました。

これにより特に北米では、2022年度第3四半期における西海岸方面への荷量が低調でした。この間、一般倉庫の在庫レベルは高いレベルを維持していたようですが、北米西岸労使交渉も決着していないため、お客様には不確実な心理が生じています。

## 中国の旧正月 - スピード・バンプの早まり

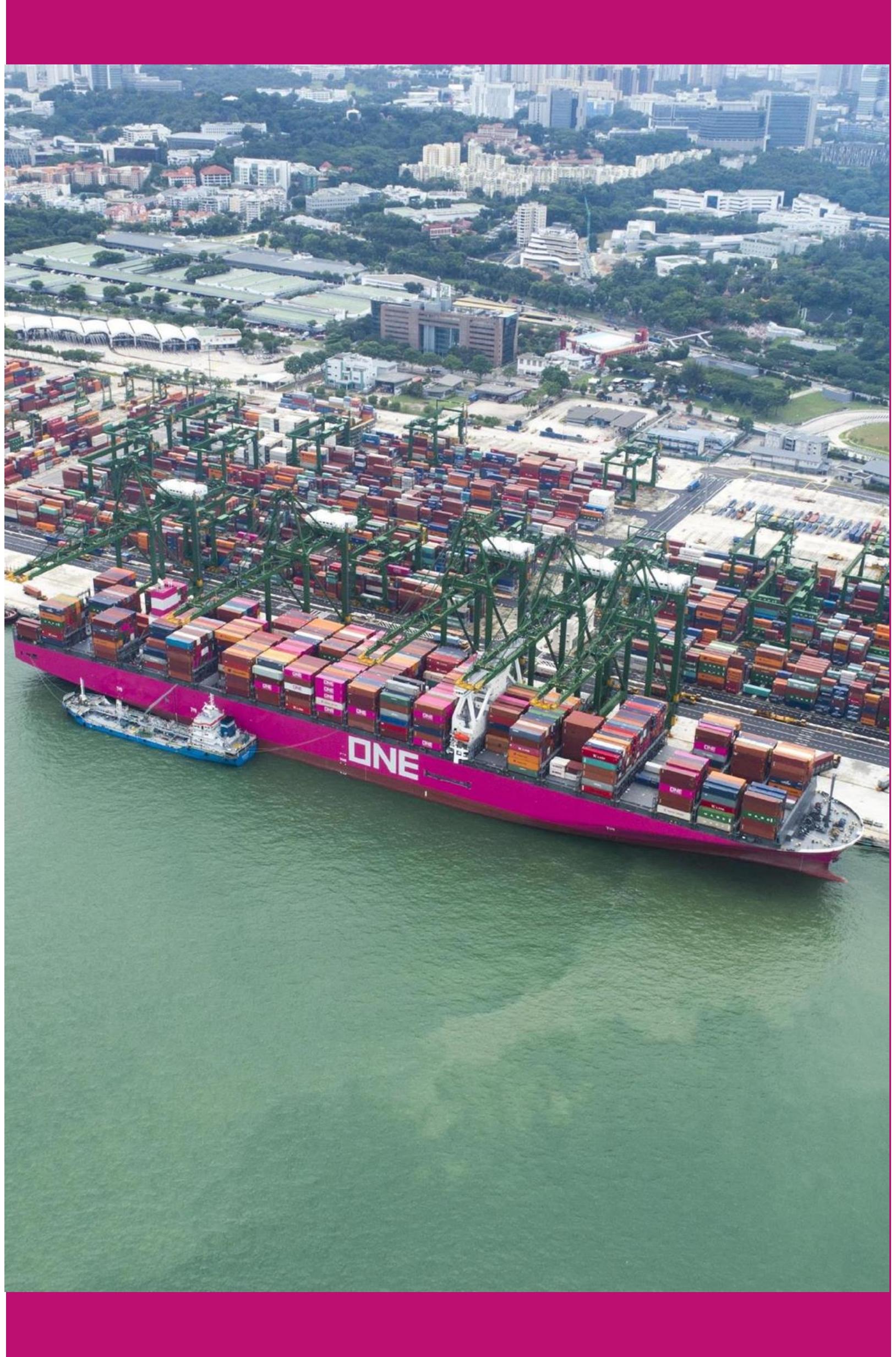
今年は、特に中国の旧正月（2023年1月21日から）が例年より早かったのですが、通常期待されるような旧正月前の12月の発注増は見られませんでした。荷受人は発注に保守的であったため、多くの工場が1月初旬に正月休みを開始することを決定しました。これは、Covid-19の感染が突然予想外に増加したことも一因です。そのため、中国とベトナムからの2月の輸出は特に少ないと予想されます。これらを踏まえ、市場供給が調整され、旧正月以降のrain shadow期間が延びると、結果として輸送サービスが滞る割合が高くなります。

当社は、12月の季節休暇中の小売販売データが揃うのを待って、現在の在庫レベルが市場全体でどのような傾向なのか、より正確に見極めてまいります。

## ネットワーク展開

東西航路では、当社が中心メンバーとなっているTHEAコンソーシアムは、2023年における新サービスを発表しました。これには、アジア・欧州直航航路を含め、いくつかの強化された2022年ネットワークが含まれています。アジア域内航路・豪州航路では、2022年に港湾混雑により悪影響を受けた基幹航路やフィーダーサービスの回復に努めています。中南米、中東、東アフリカの各地域で新たなサービスを追加しました。

# CEOからのメッセージ (2/2)



## ターミナル

昨年12月、当社はYTI（ロサンゼルス）とTraPac（ロサンゼルス・オークランド）両社の過半数の株式取得に合意しました。これは、米国西海岸における当社の海上及び陸上サービスを統合を強化し、インターモーダル貨物と本船接岸の手配をよりシームレスなインターフェースを供給するものです。そのため、当社は社内に専門の「ターミナル部門」を設置し、今後も他のターミナルの取得を検討していく予定です。

## e コマース

当社は顧客サービスの強化のため、引き続きデジタルサービスの更なる充実に注力しています。ウェブ、チャット、モバイルアプリの機能に多くの改良を実施しました。また、新しい「サービス・クラウド」のグローバル展開がほぼ完了し、専任スタッフによるサービス品質と迅速な対応の強化を図ってまいります。

## IMOによる新しいCII規制

2023年1月1日、IMOの新しい炭素原単位指標（CII）規制が発効しました。これにより、すべてのコンテナ船の船主は、船舶の炭素排出量データを直接ロンドンのIMOに報告する必要があります。このデータは、航行距離と燃料消費量に基づく効率性評価（A～E）に使用されます。この規制により世界中の海運によるCO<sub>2</sub>排出量が削減される一方、一部では船舶の航行速度が低下することも予想されます。2023年6月に開催されるIMO MEPC 80会合では、「市場ベースによる措置」（炭素税）の適用に関する規制が更に明確化されることが予想されます。

# 2022年度の取り組み

## 戦略と方針

### 2022年3月に発表した当社の「中期戦略」及び「グリーン戦略」の実行

- サプライチェーンを支えるコンテナ船社として、高品質で安全なグローバル輸送サービスの提供し続けるための投資を着実に実施してまいります。
- グリーン戦略を最重要経営課題と位置づけ、脱炭素化を始めとした業界の課題に取り組みます。
- 業界トップクラスの収益性と安全性向上に向け、更なるデジタル化や運航の効率化、リスク管理の強化に取り組みます。

## 投資：

- ・ 現代重工業および日本シップヤード（株）と、13,700TEU超型の大型コンテナ船各5隻、計10隻を建造する契約を締結しました（2022年5月）。これら船舶は2025年に引き渡しを受ける予定です。
- ・ 新造船 12,000TEU型（長期傭船）2隻が、計画通り引き渡し済み（2022年8-9月）
- ・ インド・ハジラ向けフィーダーサービスの開始（シンガポール/コロンボ/ハジラ）、東インド向けサービスの利便性を向上（2022年9月）
- ・ 中東/インドモザンビーク直行サービスを改編し、ケニア・モンバサへの直接寄港を開始。東アフリカへの輸送サービスの新たなゲートウェイオプションを拡大しました。（2022年8月）
- ・ 当社とAtlas Corp社の主要株主間において、同社の発行済株式のすべてを取得する最終契約を締結。（2022年11月）

## 環境：

- ・ EEXI/CIIについて、アライアンスパートナー船社と船舶別・航路別の対応を継続中。これによりCIIモニタリング機能を構築中。
- ・ 当社の参画するGCMD(\*1)はシンガポール/ロッテルダム間の"Green & Digital Corridor"(\*2)の設立に協力。（2022年9月）
- ・ 2023年におけるゼロ・エミッション船のAiP取得を目指し、外部関係者とプロジェクトを結成し進行中。

## 安全性：

- ・ 当社の運航船を対象に安全キャンペーンを実施。本年は各船の優良事例や取り組みの紹介とその共有を主眼（2022年8月）

\* 1. 海事産業における脱炭素化に向けたグローバルセンター。産官連携によるシンガポールの海事脱炭素化の拠点となる。

\* 2. 脱炭素を目的としたシンガポール海運港湾庁とロッテルダム市間による取り組み。

# 顧客サービス志向 (1/3)



## モバイルアプリケーション

- 当社のモバイルアプリケーションに関連するフィードバック・ページを追加することで改善点を収集し、関連機能の強化を行うことにより、お客様の利便性を改善します。
- 当社は、お客様にとって利便性の高い「オン・ザ・ゴー」サービスを提供するためモバイルアプリケーションに継続的に投資し、その使用率を高めるためモバイルフレンドリーなアプリケーションを優先して導入していきます。
- 南アジアを皮切りに「デマレージ＆ディテンション計算機能」を拡充しました。これは、利用者のスマートフォン用にカスタマイズされた役に立つ人気のアプリケーションです。このアプリにより、お客様は指タッチ操作で、リアルタイムに追加のデマレージ及びディテンションを確認することができるようになりました。

## お客様とのタッチポイント強化

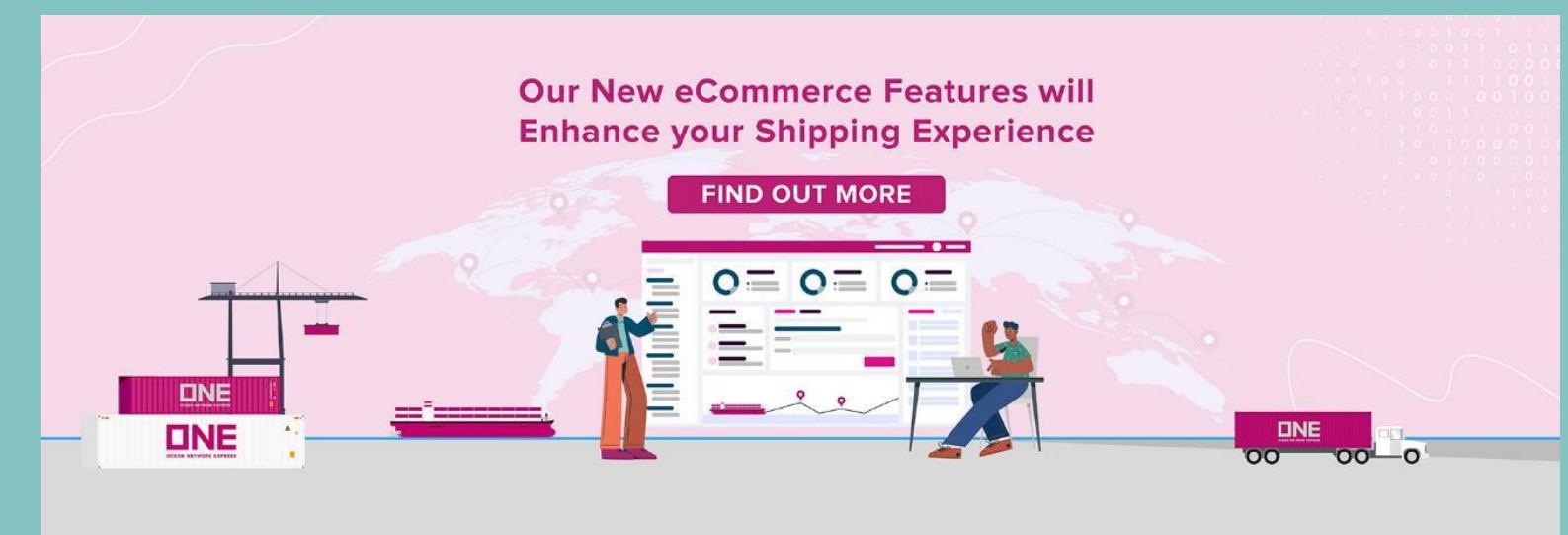
- 直感的で簡便なデザイン性を備えた輸入貨物についての情報アクセスの簡素化に向けて、当社では、eコマースの提供を拡大しました。この新たな機能により、当社のオペレーティングシステムとブッキングの同期及び処理時間が改善されました。
- ポルトガル語及びスペイン語を含めサポートする言語の幅を広げました。
- e-Payment機能により、お客様は簡単且つ安全にオンライン支払が可能になります。シンガポール、香港、タイ、インドネシア及び中国に加え、現在ではインドでも利用可能となっています。当社は今後も、サービス対象地域の拡大を検討していきます。
- 当社はe-Paymentに加え、財務関連のeコマースサービスの分野において、お客様にさらなる付加価値を提供することを目的とした自社財務プロダクトの開発を進めています。このプロダクトでは、船荷証券や請求書に関する未払い情報の閲覧、異議申し立て、e-Paymentを利用した直接決済などが可能になります。サービス開始は2023年を予定しています。

# 顧客サービス志向（2/3）

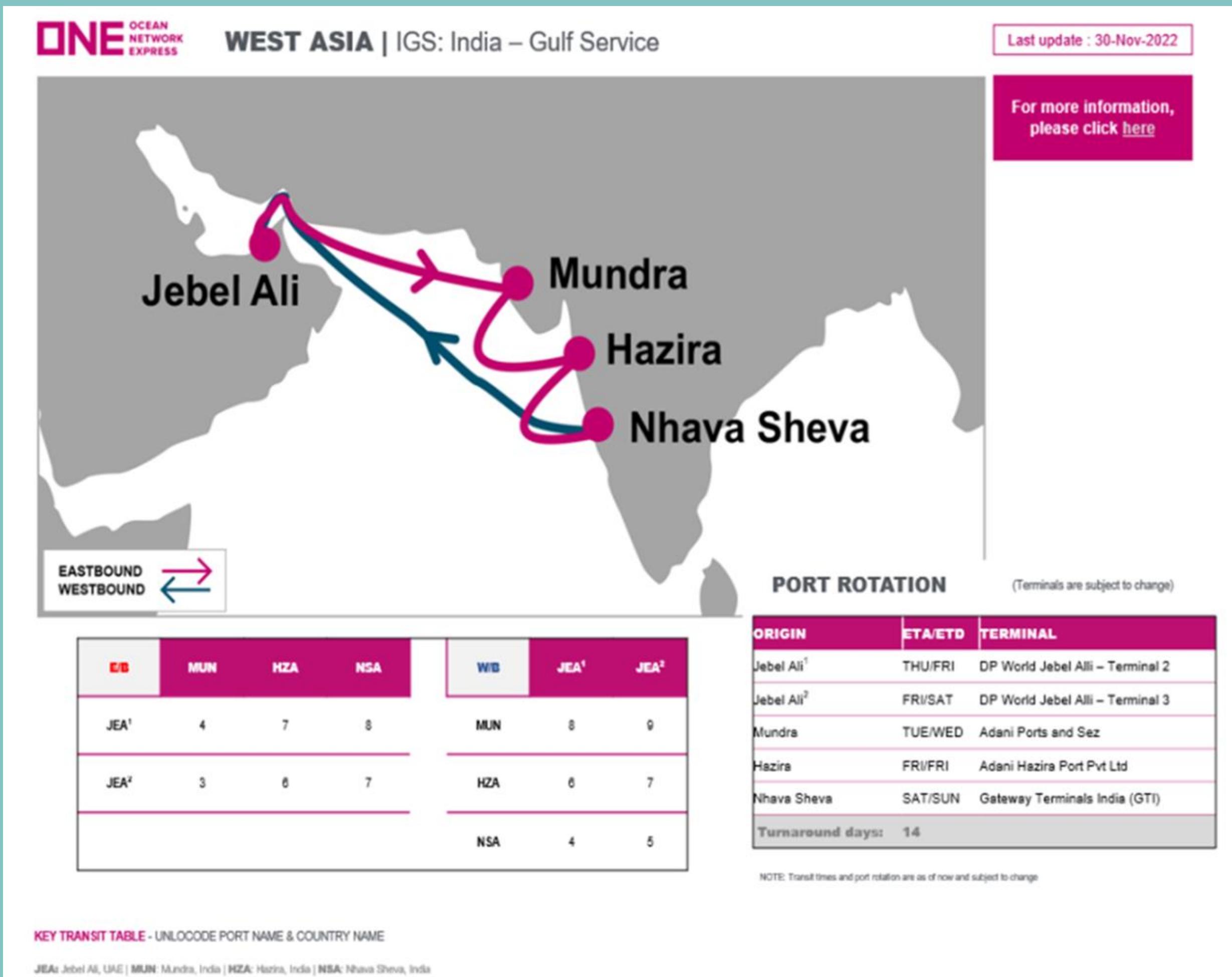


## サービス強化

- 90%以上のONEのカスタマーサービスチームのスタッフがサービス・クラウドの導入を完了、利用を開始しており、残りのスタッフも2023年半ばまでには導入を完了する予定です。セールス & サービス・クラウドの統合的な導入により、お客様との取引情報を全方位的に可視化することができるようになり、全体的な当社のサービスレベルを向上に繋がることを見込んでおります。
- 当社は、サービス・チャンネル戦略とデジタル・ソリューションを連携させることで、セールスチーム及びサービスチームがよりお客様に寄り添ったサービスをご提供致します。
- チャットによるお客様からの問い合わせを適切な担当者に繋ぐために、今まで利用頻度の多い問い合わせ情報も役立てて、チャットインテンツ機能を強化しました。
- お客様にご満足いただけるよう、Web to Case、Web Chatなど、より身近にご利用頂けるさまざまなチャネルを用意しています。
- 2022年10月10日より開始した、新たな「ONE QUOTE」では、お客様は瞬時に見積もりを取る事ができ、オンラインでそのまま船積予約することができます。加えて、お客様は、より透明性の高い料金で本サービスを利用することができ、予約されたすべての船積を追跡することができます。さらには、「ONE QUOTE」ならではの付加価値サービスとして、スペース・コンテナ保証サービスもご利用いただけます。



# 顧客サービス志向 (3/3)



## インドとUAEをつなぐ、新「IGS」サービス

- 当社は、インドとUAEを結ぶ新しいウィークリーサービスを開始しました。
- 新たな「India Gulf Service (IGS)」は、お客様により速く、より安定したサービスを提供するために開設されました。また、この新サービスは2022年5月以降、CEPA（包括的経済連携協定）によって高まることが予想される両国間の貿易需要にも対応します。

- 開始船は、2022年12月8日にJebel Aliに到着した本船 GFS GISELLE 0064Eです。
- ローテーション：Jebel Ali - Mundra - Hazira - Nhava Sheva - Jebel Ali

# オペレーションの優位性



## 米国西海岸の3つのコンテナターミナルを取得

当社は、昨年12月にTraPac LLC社(ロサンゼルス・オークランド)及びYusen Terminal LLC社(ロサンゼルス)の各株式の51%を取得する正式契約を締結しました。

これらの取得は、コンテナ船事業を親会社から当社に統合していく過程の一部です。最近のCOVID-19によるサプライチェーンの混乱は、世界貿易の安定性を維持する上でコンテナターミナルが果たすべき役割の重要性を改めて浮き彫りにしました。

新たに取得したコンテナターミナルは、重要かつ戦略的なゲートウェイとして当社にとってのターミナル機能を確保します。



## 気候変動分野でCDPからBランク評価を取得

当社は、気候変動に対する取り組みが評価され、CDPのBランク評価を取得しました。当社の取り組みは、2020年のD評価からスタートし、2021年にC評価、2022年にB評価と、継続的に評価を高めています。

CDPは、毎年、気候変動に関する企業の活動を世界的に開示する国際的な非営利組織です。

この調査は、情報開示、リスクの特定と管理、課題への対応、意欲的で重要な目標の設定などについて企業がリーダーシップを発揮して取り組んでいるかを包括的に評価するものです。

## グリーン戦略 (2/2)



### 2隻に新型Bow Wind Shield（風防）を設置

当社は、船主の協力を得て、20,000TEUの超大型船 ONE Trust（2022年10月）、ONE Tradition（2022年11月）の2隻に対してBow Wind Shieldを取り付けました。

Bow Wind Shieldは、当社のグリーン戦略に基づくグリーン投資の一つであり、二酸化炭素排出量の削減と環境に優しいサービスの実現に寄与するものです。当社は、今後も新造船にBow Wind Shieldを設置していきます。

# ONEの持続可能性 (1/2)



## グローバルでの取り組み(ピンクリボン活動)

世界各地の当社事務所では、乳がん啓発活動と連携して以下の通り、さまざまな活動を行いました。

- スペイン：ピンクリボンデーを記念して、寄付活動
- ベトナム：乳がんネットワーク・ベトナム（BCNV）を支援し、その活動の提案
- 香港東アジアRHQ：HKCFの寄付活動に協力し、ピンク色の衣服着用で啓発活動をサポート
- 中国：上海事務所において乳がん啓発の講演会を開催
- 日本：がんの早期発見の重要性を理解し、社員の意識向上を目的とした社内プロモーションの実施
- 米国・ロングビーチ：乳がん啓発のためのロングビーチ・ウォーキング活動に参加
- 同・リッチモンド：乳がん啓発活動のサポート
- 同・ニュージャージー：乳がん啓発活動補助のためのONEラザフォード・ウォーキングを実施
- ガーナ：乳がん啓発と検診を補助するためラン・フォー・ザ・キュア（RFCA）を実施
- ナイジェリア：乳がんに関し、その原因や危険因子、発見方法及び対処法に関する講演
- シンガポールGHQ：シンガポール乳がん財団と共同でピンクリボン講演会、寄付活動、マンモグラフィー検査などの実施を含めた資金調達活動

# ONEの持続可能性 (2/2)



## グローバルに展開するCSR活動

当社は、2018年の事業開始以来、世界各地で多くのCSR活動に参加しています。当社は責任ある持続可能なグローバル企業として、地域へ貢献を続けています。2022年10月から12月にかけて、1,371人の従業員がさまざまな価値のある活動に参加しました。

- シンガポールGHQ：マリーナ貯水池で開催されたカヤックイベントで清掃活動を実施
- ONE ドバイ：環境に配慮したプロソピス・シネラリア（Ghaf）の植樹
- ONE マレーシア：地元の慈善団体と協力し、恵まれない人々への支援
- ONE インド：デブネア財団と提携し、地元の学校が主催するクリスマスイベントに参加
- ONE ドイツ：ハンブルクの地域コミュニティの一環として、クリスマスに食料品の寄付活動を実施
- ONE ポルトガル：クリスマスにおもちゃの収集活動を実施し、慈善団体に寄付
- イギリス欧州アフリカRHQ: BBCのChildren in Needキャンペーンに参加
- ONE ガーナ：プラスチック製品の廃棄物回収センターを立ち上げ、その回収を促進
- ONE NA アトランタ：乳がん啓発のためのウォーキング活動
- ONE NA ボイシ：Boise Walks for a cure walkに参加し、がんの啓発を支援
- ONE NA シカゴ：地域社会を支援するため、業務用衣類を寄贈
- ONE エクアドル：NGOと協力してグアヤキルのマングローブの清掃活動
- ONE チリ：子どもや若者の更生に取り組み、地域社会へ受け入れられることを目指す「テレトン」に寄付。
- ONE ペルー：地元学校の社会基盤及び設備を改善するためDPW 7K レースに協賛及び参加
- ONE ブラジル：地域社会における放課後に生徒をケアするための環境整備を目的としたプロジェクトに協賛



ありがとうございました

[www.one-line.com](http://www.one-line.com)